

第61回 神戸市障害者スポーツ大会実施要綱

1. 目 的

障害者がスポーツを通じて体力の維持増強、機能回復、残存能力の向上を図り、明朗快活で、積極的な性格と協調精神を養うとともに、社会の障害者に対する正しい認識の向上と社会参加の促進を図ることを目的とする。

2. 後 援

神戸市教育委員会、(公財)神戸市スポーツ協会、(公財)神戸新聞厚生事業団

3. 主 管

神戸市卓球協会、神戸市陸上競技協会、
神戸市水泳協会、兵庫障害者フライングディスク協会、
兵庫県ボッチャ協会

4. 協 力

ボーイスカウト神戸市連絡会、ガールスカウト神戸地区協議会、
神戸市消防音楽隊

5. 開催日時・会場

競技名	開催日時	会場	備考	頁
卓球	【身体障害の部】 令和4年4月24日(日) 10時00分～(選手集合 9時00分) 【知的障害の部・精神障害の部】 令和4年4月24日(日) 13時30分～(選手集合 12時30分)	中央体育館	<雨天決行> ・障害者スポーツ振興センターホームページ に実施か中止の掲載をします。 http://www.kobesad.jp/	4
ボッチャ (肢体不自由者)	令和4年5月15日(日) 9時30分～(選手集合 9時00分)	王子スポーツセンター		5
フライング ディスク	令和4年5月21日(土) 10時00分～(選手集合 9時30分)	王子スタジアム		6
陸上競技	令和4年5月22日(日) 9時30分～(選手集合 9時00分)	ユニバー記念競技場		7・8
水泳	【知的障害の部・精神障害の部】 令和4年5月29日(日) 9時30分～(選手集合 8時45分) 【身体障害の部】 令和4年5月29日(日) 14時00分～(選手集合 13時00分)	市民福祉スポーツセンター プール		

6. 参加資格

- (1) 神戸市内に居住または勤務し、身体障害者手帳、療育手帳または精神障害者保健福祉手帳、自立支援医療(精神通院)受給者証を所持する中学1年生以上の者。
- (2) 市内の特別支援学校または特別支援学級に在籍中の中学1年生以上の者。
- (3) 市内の障害者施設に在籍中で中学1年生以上の者。

7. 申し込み

- (1) 申込方法 ※以下のいずれかの方法でお申込ください。

① 申込書での申込

- ・申込用紙:(社福)神戸市社会福祉協議会 障害者スポーツ振興センター、各区保健福祉部(福祉事務所)、市身体障害者団体連合会事務局および市手をつなぐ育成会事務局にあります。
- ・申込先:下記 神戸市社会福祉協議会 障害者スポーツ振興センターおよび各区保健福祉部(福祉事務所) まで

② インターネット申込

- ・障害者スポーツ振興センターホームページ(<http://www.kobesad.jp/>)へアクセス。申込専用ページで必要項目を入力し、申込内容を確認後、送信ボタンを押して申込完了メールが届いたら申込完了。



- (2) 申込期限

- | | |
|---------------|---------------|
| ●卓球 | 令和4年 3月31日(木) |
| ●ボッチャ(肢体不自由者) | 令和4年 4月14日(木) |
| ●フライングディスク | 令和4年 4月14日(木) |
| ●陸上競技 | 令和4年 4月14日(木) |
| ●水泳 | 令和4年 4月27日(水) |

【障害者スポーツ振興センター・各区保健福祉部への提出期限です】
※提出期限は厳守して下さい。

- (3) 問い合わせ先

〒651-0086 神戸市中央区磯上通3丁目1番32号 こうべ市民福祉交流センター4F
(社福)神戸市社会福祉協議会 障害者スポーツ振興センター
TEL (078) 271-5330 FAX (078) 271-5367

8. 表彰

- (1) 入賞者の範囲は、組ごとに1位から3位までとし、メダルを贈る。
- (2) 順位決定戦を行わず、3位まで表彰する。
- (3) フライングディスクについては、1位が複数の場合、1位決定戦を行う。

9.その他

- (1) 出場者の少ない種目については、類似した障害条件の者が一緒に競技をすることがある。
- (2) いかなる理由があっても、参加申込者以外の出場および代理出場は認めない。
- (3) 申込者は、事前に本人の責任において医師の診断を受け、不測の事態に備えること。
- (4) **医師の判断により競技参加が不相当と認められたときは、出場を断ることがある。**
 - ※ 大会当日の傷害、疾病、事故等については、応急手当以外は主催者において一切の責任を負わないので、健康と安全については各自十分注意すること。
- (5) 本大会の成績は、第22回全国障害者スポーツ大会「いちご一会とちぎ大会(10月29日～31日)」への選手選考の参考資料とする。(神戸市内在住者、または在校生に限る)
 - ※ フライングディスクの選手選考については、アキュラシー・ディスタンス両種目に出場した選手の記録を参考資料とする。
 - ※ **新型コロナウイルスの感染拡大により、中止にする場合があります。**

全国障害者スポーツ大会で実施される競技(14競技)

- ・**個人競技** 陸上競技(身・知)、水泳(身・知)、アーチェリー(身)、卓球(身・知・精神)
フライングディスク(身・知)、ボウリング(知)
個人競技においては、年齢を以下の各部に分けて競技が実施される。
 - ・身体障害者:1部(13歳～39歳)、2部(40歳以上)
 - ・知的障害者:少年(13歳～19歳)、青年(20歳～35歳)、壮年(36歳以上)
- ・**団体競技** : 男女バスケットボール(知)、車いすバスケットボール(身)、ソフトボール(知)、
グランドソフトボール(視)、男女バレーボール(身・知・精神)、サッカー(知)、
フットベースボール(知)、ボッチャ(身)

※ 個人情報の取り扱いについて

1. 申込者の個人情報については、当大会を安全かつ円滑に開催することを目的に使用するものであり、プログラム・記録集・ホームページには、ゼッケン番号・名前・性別・障害種別(身体/知的/精神)・障害区分番号・部・記録(順位)を掲載します。
 2. 当大会および全国障害者スポーツ大会に出場する選手本人の名前・写真・映像が、神戸市社会福祉協議会ホームページ、神戸市障害者スポーツ振興センターだより、神戸市が資料提供する記事、テレビ・新聞などマスコミの報道等に掲載されることがあります。
- ※ これらの点についてあらかじめご了承の上、お申し込みください。

水 泳

1. 競技種目および障害適用表

※障害区分等については全国障害者スポーツ大会と同じ。

※個人メドレーは、全国障害者スポーツ大会の種目にありません。神戸市大会のみです。

◎＝男女・1部・2部とも 出場できる。

(1部＝39歳以下、2部＝40歳以上)

1. 身体障害者の部

障害区分番号・障害名		種 目	自由形			平泳ぎ		背泳ぎ		バタフライ		個人メドレー	
			25	50	100	25	50	25	50	25	50	100	
肢体不自由	上肢	1	手部切断(片手・両手の切断)		◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
		2	片前腕切断、片上肢不完全		◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
		3	片上腕切断、片上肢完全		◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
		4	両前腕切断、両上肢不完全		◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
		5	両上腕切断、両上肢完全 片前腕・片上腕切断		◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
	下肢	6	片下腿切断、片下肢不完全		◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
		7	片大腿切断、片下肢完全		◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
		8	両下腿切断、両下肢不完全		◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
		9	両大腿切断、両下肢完全 片下腿・片大腿切断		◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
	上下肢	10	片上肢切断・片下肢切断 片上肢不完全・片下肢不完全		◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
		11	多肢切断、片上肢完全・片下肢完全 両上肢不完全・両下肢不完全		◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
	体幹	12	体幹		◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
	車 い 原 性 麻 痺 以 外 で	13	第7頸髄まで残存		◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
		14	第8頸髄まで残存		◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
		15	下肢麻痺で座位バランスなし		◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
		16	下肢麻痺で座位バランスあり		◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
	疾 患 (脳 性 麻 痺 、 脳 原 性 麻 痺 、 脳 血 管 外 傷 等)	17	四肢麻痺(車いす常用) 上肢に著しい不随意運動を伴う走不能		◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
		18	両下肢麻痺 上肢に軽度の不随意運動を伴う走不能		◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
		19	片側障害で片上肢機能全廃		◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
		20	その他の片側障害で走不能		◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
		21	その他		◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
	22	浮具使用		◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	
視覚障害 ※1	23	視力0から0.01まで ※2		◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	
	24	その他の視覚障害		◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	
聴覚・平衡機能障害、 音声、言語、そしやく 機能障害	25	聴覚障害		◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	
内 部 障 害	26	内部疾患		◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	

※1 視力は「矯正後の良い方の視力」で判定する。
 ※2 障害区分23は光を通さないゴーグルを装着する。

2. 知的障害者の部

種 目 障害区分(年齢区分)			自由形			平泳ぎ		背泳ぎ		バタフライ		個人メドレー
			25	50	100	25	50	25	50	25	50	100
知的	27	知的障害 (少年=13~19歳)	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
知的	28	知的障害 (青年=20~35歳)	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
知的	29	知的障害 (壮年=36歳以上)	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎

3. 精神障害者の部

種 目 障害区分(年齢区分)			自由形			平泳ぎ		背泳ぎ		バタフライ		個人メドレー
			25	50	100	25	50	25	50	25	50	100
精神	30	精神障害 (1部=35歳以下)	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
精神	31	精神障害 (2部=36歳以上)	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎

2. 競技方法

- (1) 競技規則は日本水泳連盟競技規則および全国障害者スポーツ大会競技規則を適用する。
- (2) スタートはコールは「イングリッシュコール」でおこなう。
- (3) 両下肢機能障害・全盲者、知的障害者および精神障害者はプール内からスタートする。
ただし、知的障害者でスタート台からスタートを希望する者は、許可する。
- (4) 障害区分23は光を通さないゴーグルを装着する。

3. その他

- (1) 水着および水泳帽は各自で持参する。
- (2) 出場は、1人2種目までとする。
- (3) 今大会は、フリーリレーは実施しない。